



第159号 令和3年11月22日発行

総合型地域スポーツクラブ 公式メールマガジン

このメールマガジンはスポーツ振興くじ助成金を受けて配信しています。
スポーツ振興くじについてはこちらから
[日本スポーツ振興センターHP] <http://www.jpnsport.go.jp/>



スポーツ振興くじ助成事業

特集 安定的な財源の確保に取り組むクラブ

▶▶▶ 一般社団法人コメっちわくわくクラブ(山形県)

特別企画 人材育成に取り組むクラブ

▶▶▶ NPO法人クラブぽっと(石川県)

特別企画 近隣クラブと連携するクラブ

▶▶▶ みなとwaiwaiクラブ/
スポーツクラブひたまる25/
ひまわりスポーツクラブ/
SCスマイルTOKAI/
夢town大洗スポーツクラブ(茨城県)

特別企画 サイクリング活動に取り組むクラブ

▶▶▶ NPO法人伊勢崎西部スポーツクラブ(群馬県)

助成金情報 ▶▶▶ 詳細

お知らせ ▶▶▶ 詳細

バックナンバー ▶▶▶ 詳細



公益財団法人

日本スポーツ協会

特集

安定的な財源の確保に取り組むクラブ

一般社団法人庄内町総合型地域スポーツクラブ コメっちわくわくクラブ ＜山形県東田川郡庄内町＞

日本スポーツ協会が「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2018」で掲げる総合型クラブの基本理念である「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、クラブの活動が地域に根差し、クラブが安定的に運営されることが必要です。

そこで今回は、行政や地域と連携し、安定的な財源の確保に向けた取り組みを行っているクラブを紹介します。

1 クラブ概要

通年14教室を実施 会員数295名 常勤スタッフ6名

平成23年2月に庄内町総合型スポーツクラブ「コメっちわくわくクラブ」を設立しました。誰もがスポーツや文化活動を通して、心身の健康づくりや思いやりのある地域コミュニティづくりを目指し、生涯にわたり笑顔あふれる、夢のある元気な街づくりを実現するという理念のもと各種事業を展開しています。

また、地域の子どもから大人まで、障がいの有無に関わらず、すべての人に対しスポーツや文化活動を通して、健康・福祉・子育て支援ならびに地域交流の普及と振興、育成に関する事業を行い、生涯にわたり地域の方々の利益と健康増進をはかり、豊かな町民生活に向けて活動していくことを目的としています。

令和2年11月には指定管理を行っているクラブとして、施設の安全性や利便性、利用者への安全管理、利用者のニーズに迅速に対応し、より利用しやすい施設となり、町民の健康づくりに貢献するため、クラブを法人化。一般社団法人庄内町総合型スポーツクラブ「コメっちわくわくクラブ」を設立し、運営強化を果たしました。

令和3年度の会員数は10月時点で295名です。教室は通年で14コース、単発のプログラムを約3コース実施しています。事務局は常勤スタッフが6名（クラブマネージャー1名、スタッフ5名）、施設管理スタッフが5名います。



2 取り組みの内容

クラブにスポーツ指導ができるスタッフがいたことや、クラブで外部指導者を抱えていることが評価され、「施設の指定管理」、「町の委託事業」、「小学校、地域からの要請を受けた軽運動教室」などの依頼を受けはじめました。

15施設を管理運営

クラブ発足から5年間は町とtotoからの助成を受け、現在管理運営している体育館の一室をクラブハウスとして借りながらスタッフ2名体制で活動してきました。

平成28年からは町より社会体育施設9カ所の指定管理を受託。これによりクラブスタッフも増員し、これまで体育館主事として施設管理や社会体育事業の職務経験のあった職員も新たに加わり10名体制で管理運営業務とスポーツクラブの活動を展開してきました。

令和3年からは新たに6施設が加わり15施設の管理・運営を行っています。

マラソン大会や駅伝の企画・運営にも関与

体育施設の管理運営の他、庄内町スポーツ協会やスポーツ少年団の事務局など社会体育事業に関する業務も行っています。また、町と連携しマラソン大会やニュースポーツ体験事業の企画・実施、県縦断駅伝における中継所の運営、文部科学省から依頼のある体力・運動能力調査の実施なども受託しています。

小学校クラブ活動等でもスポーツ指導

町内の幼稚園や、小学校のクラブ活動、PTA行事、地域の老人クラブやサークル団体、町健康福祉事業などの依頼に応じて、軽体操やニュースポーツの指導を行っています。

指導に当たるのは主にクラブのスタッフですが、その他、地域のスポーツ指導者や大学生にも指導を依頼しています。また、過去には地域おこし協力隊とも連携していました。

自主財源は会費と事業収入

財源はクラブの会費や事業収入からなる自主財源と施設管理運営経費からなるものです。施設管理業務や社会体育業務を行うことで町から指定管理委託料が得られるため、施設の利用者の増加に努め各種事業を展開し、町の活性化に資することで、町との信頼を築くことが大切であると考えます。



クラブで指定管理している
八幡スポーツ公園



楽しい山歩き



スポーツ協会表彰式



スポーツ少年団スポーツテスト

3 取り組みの効果と課題

人件費は施設管理業務や社会体育業務などからなる指定管理運営の会計から捻出されるため、会員を増やす取り組みや種々の事業展開に集中できるのが一番のメリットです。

活動が地域に定着し、依頼や委託が増加

また、上記取り組みの結果、地域や外部団体からの指導依頼、委託回数は年々増加し、活動は地域に定着しつつあると感じています。また、体育施設の利用者も指定管理受託後、増加傾向にあります。

会員数は減少傾向

しかし、スポーツクラブの会員数は平成28年度をピークに減少傾向あり、年齢層にも偏りがあります。新規入会もなかなか増加していません。

魅力ある多世代型メニューの提供を

今後、若者のスポーツ離れや少子高齢化が進む中、より多くの町民や利用者が安心安全に施設を活用することができるような事業展開と、子どもから高齢者まで誰でも気軽にクラブの活動に参加できるよう多世代種目に応じた魅力あるメニューを提供していく必要があると感じています。また、ホームページやSNS等で活動をPRするなど情報発信を推進しながらスポーツ活動への関心を高めていくことが課題解決のために重要であると考えます。

4 管理運営に偏重せず、クラブの自立と発展を目指す

今後は自主財源確保の取り組みも視野

指定管理施設が増加したことから、業務が管理運営に偏重していることが否めません。今後、クラブの自立および発展的存続のためにも自主財源を確保する取り組みもしなければならないと感じています。

段階的に休日部活動の受け皿に

また、令和5年度からは休日の部活動が段階的に地域に移行し、その受け皿をスポーツクラブで担うことになるようです。本町はスポーツ少年団活動や中学生の部活動も非常に盛んな地域です。そこでtotoのバス事業などを活用しながら大会や遠征時の貸し出しなども視野に入れているところです。

本クラブはスポーツ活動を行う施設環境や機会等は比較的整備されていることから、地域や施設の特色を生かし魅力あるクラブ運営を目指していきたいと考えています。

(コメっちわくわくクラブ クラブマネジャー 高橋 大輔)

クラブプロフィール

設立年月日 平成23年2月26日(令和2年11月4日法人登記)

所在地 山形県東田川郡庄内町

運営 会員数295名(令和3年10月現在)、予算規模75,206,000円
(令和3年度予算※指定管理委託料含む)

特徴 スポーツクラブの運営から体育施設の管理を行い、庄内町のスポーツの拠点となっています。当クラブでは、誰もがスポーツや文化活動を通して、心身の健康づくりや思いやりのある地域コミュニティづくりを目指し、生涯にわたり笑顔あふれる、夢のある元気な街づくりを実現するという理念のもと各種事業を展開しています。

連絡先 〒999-7781 山形県東田川郡庄内町余目字大塚5-1

TEL 0234-43-3347 FAX:0234-43-4880

URL <https://wakucome.com>

E-Mail takahashi-daisuke@wakucome.jp

特別企画

人材育成に取り組むクラブ

NPO法人クラブぽっと 〈石川県金沢市〉

活動基盤・活動環境をより充実させ、持続可能な総合型クラブの運営を目指すには、効果的な事業計画を企画・立案できる人材が求められるとともに、常に先を見据え、異業種・異業態も含めた広い視野と多様性を持つ人材の育成・確保をしていくことが重要です。

そこで今回は、大学生と連携し、人材育成に取り組むクラブについてご紹介します。

1 クラブ概要

クラブ理念を基に5部門で事業展開

NPO法人クラブぽっとは、平成21年4月から杜の里スポーツクラブとして活動を始め、NPO法人化とともに名称変更し、現在の活動につながっています。以下のようなクラブ理念を掲げ、この理念を達成するために、5つの部門の事業を展開しています。

【クラブ理念】

1. 誰もが集い、育てるクラブ
2. 互いに学び、成長できるクラブ
3. 未来を見つめ、地域を拓くクラブ
4. みんなの想いが実現するクラブ

【展開事業5部門】

1. スポーツクラブ部門: 幼児、小学生向けのスポーツ教室の開催や高齢者向けの健康づくり教室の開催等
2. 次世代育成部門: 子ども向けの自然体験活動等
3. 人材育成部門: スタッフ向け研修会の開催、教材の提供等
4. 人材派遣部門: 地域の幼稚園での体育指導、講習会への講師派遣等
5. 地域応援部門: 地域のお祭りへの参加など地域行事でのボランティア活動等



理念にもある人が育つクラブとして、いくつかの人材育成プログラムを実施しています。これらの事業を実践するために常勤職員2名、非常勤職員2名、また多くのスポーツ指導者やボランティアスタッフ(地域住民)、地域に住む大学生らがスタッフとして関わっております。

2 人材育成で大切なのは 「スタッフの想いに合わせてサポート」

近隣に3大学も交流機会が希薄→多くの学生をスタッフとして受け入れ

NPO法人クラブぽっと(旧杜の里スポーツクラブ)は、地域スポーツ環境の充実はもちろん、地域課題の解決につながるクラブとして設立されました。我々の活動地域には近隣に3つの大学があり、多くの大学生が住んでいます。しかし、県外から来て4年間しか住まない大学生と元々居住している地域住民との交流の機会はなく、ごみ問題や騒音の問題等お互いのすれ違いによるトラブルがありました。また、設立当初地域に住む大学生は大学で学んだことを実践したり経験したりする場が少なく、実践の機会を求めていました。そこで、地域に住む大学生がクラブを通して地域住民と交流し、活動を通して学びながら成長できる機会を提供できればと多くの大学生をスタッフとして受け入れ、指導者や企画運営者、地域ボランティアのスタッフとして関わってもらっています。

クラブ側から個別に学生に声がけ

平成20年からクラブ設立のための準備委員会を立ち上げていて、地域に大学生が住んでいることや筆者が金沢大出身だったこともあり、後輩や興味のある学生に声をかけて準備委員会のメンバーとして大学生が参加していました。

その流れの中でクラブから個別に学生に声をかけたり、関わる学生が興味のある学生を連れてきたりして、常に学生が関わっている状況です。大学生と地域住民の交流ということがクラブのテーマの1つだったので、クラブ側から個人の学生に声をかけて関わったのが始まりです。

毎年学生が入れ替わる苦労も、「そこをマネジメントすることが業務」

個別に学生が関わるのでその都度「クラブぽっとの理念」「活動内容」などを1時間程度お話ししたり、「学生の興味のあること」について学生から話を聞く時間をとります。10人新しく学生が関われば10時間、20人関われば20時間以上時間をかける必要があります。とても大切で重要な時間ですが、職員の時間をそれに割かなければいけないという苦労はあります。

当然、学生は4年間で卒業するのでその都度入れ替わりがあり、毎年それを繰り返すことになります。また、学生が入れ替わることで後任のスタッフを探さなければいけないという苦労はありますので、この点が一番大変かもしれません。

ただ、学生が関わり、その学生がクラブについて理解していることが、その後につながるので必要な苦勞であり、そこをマネジメントすることが業務だと思っているので大きな苦勞とは感じておりません。

学生・スタッフ向けに各種研修会を実施

スポーツ教室の指導者や企画運営者として機会の提供を行うだけでは学生の成長につながりませんし、地域住民や会員の方へもよいサービスが提供できません。そこで学生スタッフやクラブスタッフ、ボランティアスタッフ向けにそれぞれが成長できる取り組みを「人材育成部門」として事業を立ち上げ実施しています。例えば、スポーツ教室の指導者向けに実技指導に関する研修会を実施したり、コーチングやコミュニケーションに関する研修会を実施したりしています。また、スキルの研修会以外にも自信のクラブでの成長と向き合うリフレクション(内省)ワークショップも開催しています。

また、研修会やワークショップの開催だけでなく、日々の活動での振り返りは必ず行い、その場にクラブスタッフが参加し、個人個人に合わせたサポートや助言を行っています。それ以外にもクラブ事務所に様々な教材を用意したりすることで気軽に自分で学べる空間をつくっています。こうした人材育成プログラムの検討および実施、コーディネートをクラブ職員が行っているわけですが、人材プログラムの中で一番意識をし、工夫をしていることは、「一人ひとりの想いに合わせてサポートすること」です。

スタッフとのコミュニケーションを図りつつ学びの場を提供

クラブには様々な思いの学生や地域の方が関わってくれています。子どもに関わりたいスタッフもいれば高齢者に関わりたいスタッフもいます。運動指導について学びたいスタッフもいれば学習支援について学びたいスタッフもいます。この多様な想いや学びたいことに合わせるために、職員は日々スタッフとコミュニケーションをとり、「今何に困っているのか」、「何を学び、経験したいと思っているのか」などを把握し、どのような機会をつくってあげることが成長につながるかを考えています。そして必要に応じて研修会を企画したり、学びの場を提供したりしています。

「自ら学び、自ら成長できる」仕組み

これらの研修会や学びの場は全てのスタッフが強制参加ではなく、参加したいスタッフが自分で選び参加できる仕組みにしています。自分に必要な学びを選び、参加することでより質の高いプログラムになります。「自ら学び、自ら成長できる」仕組みをつくることはクラブとして会員向けに行っている事業と通ずるところがあると感じています。



講師を招いてのスタッフ研修会の開催
(コーチング研修)



指導スタッフを対象とした
実技研修会の開催

3 取り組みの効果や課題

学生スタッフの成長でクラブ事業が充実

スタッフの現状を把握し、それに対して必要な研修会や学びの場を提供することでスタッフ(特に学生スタッフ)が成長し、それによりクラブ事業の充実や会員へのサービス向上が一番の効果だと感じます。実際に学生が企画したイベントにより新しいプログラムが実施できたり、スタッフが成長することで会員数が伸びた教室もあつたりします。

会員や地域の方々も学生スタッフを応援

会員の方々の学生スタッフへの評価は上々です。大学生スタッフというよりはクラブぽっとのスタッフ・指導者として地域の方や会員の方が見ていますので「学生だから」という声はありません。いい意味で大学生と社会人スタッフの区別がなくなってきている気がします。

それを踏まえた上で、若いスタッフに会うことを楽しみにしていて「元気がもらえる」とおっしゃっている高齢者の方がおられたり、子どもに一生懸命向き合っている姿を見て感謝の気持ちを伝えてくれる方が多いです。また、「学生スタッフで食べて」と差し入れを持ってきてくれる方がいたり、学生側の相談にのってくれる地域の方がいたり、学生スタッフを応援してくれる地域の方もおられます。

学生からの新たな人材紹介でスタッフ増に

また、学生スタッフが成長し、主体的にクラブ活動に参加することで新しい学生を紹介してくれたり、新たなスタッフを巻き込んでくれたりするので、関わるスタッフが増えることにもつながります。その結果、学生と地域住民との交流も盛んになります。また、多様な人材が関わることで多様な研修プログラムを実施できるというメリットもあります。

職員の負担軽減、財源確保が課題

一方、基本的に人材育成プログラムは無償でスタッフに提供(一部有償)しているのですが、職員の負担が増えたり、財源確保が難しくなったりするという課題もあります。多くの学生が関わることで多様な人材が関わり、多様な研修プログラムの開発も必要になってくるという側面もあります。

今後の課題としても職員の負担軽減および財源確保が考えられますので、学生が学生を教えるプログラムや卒業生を含めた地域住民が提供するプログラムなど新しい形の研修プログラムも必要になってくると考えています。



学生企画のイベント打ち合わせ



学生企画の実施(開催新聞記事)

4 「人」を大切にし、共に成長できるクラブを標榜

小学生会員が後にスタッフに 大学卒業生が講師に

「誰もが集い、育てるクラブ」、「互いに学び、成長できるクラブ」というクラブ理念にある通り、学生を含めた様々な方々がスタッフや会員、支援者としてクラブに関わり、そして成長していきけるクラブでありたいと考えています。

ありがたいことにクラブの会員として活動に参加してくれていた小学生が中学生になり、クラブ活動のボランティアスタッフとしてお手伝いをしてくれています。また、クラブ設立当初小学生だった子が現在大学生になりクラブに関わってくれています。そして、大学生としてクラブに関わってくれていた卒業生が現在クラブに関わる学生向けのワークショップの講師をしてくれています。

「人」に支えられている地域とクラブ

このようにクラブに関わる人々が成長し、その先にクラブに対する恩返しはもちろん、次の世代への恩送りをしてくれていることは、クラブが目指している姿を表していると思います。

様々な課題はありますが、地域もクラブも「人」によって支えられています。そういった「人」を大切にし、共に成長できるクラブであり続けるために、今後も様々な活動を継続していきたいと考えています。

(NPO法人クラブぽっと クラブマネジャー 森 亮太)

クラブプロフィール

設立年月日	平成21年3月29日(平成25年4月15日法人登記)
所在地	石川県金沢市
運営	会員数271名(令和3年10月現在)、予算規模1,675万円(令和3年度)
特徴	■運動・スポーツ・健康づくり活動を通して健康あふれる楽しいまちづくりに貢献する団体 ■理学療法士やトレーニングコーチなど専門家が関わる ■地域に住む大学生が学びの場として関わる
連絡先	〒920-0941 石川県金沢市旭町2-19-33 ブライト・イン押田1階 TEL 076-223-2360 FAX 076-223-2360 URL https://mori-spo.wixsite.com/clubpot E-mail mori-spo@hotmail.co.jp

特別企画

近隣クラブと連携するクラブ



みなとwaiwaiクラブ
スポーツクラブひたまる25
ひまわりスポーツクラブ
SCスマイルTOKAI
夢town大洗スポーツクラブ
＜茨城県＞



総合型クラブがその地域に適合し定着・浸透するためには、総合型クラブ単体の取り組みだけでなく、既に近隣で活動している他団体と相互扶助の関係を築くことが必要となります。そこで今回は、近隣クラブと連携するクラブについて紹介します。

1

近隣クラブ間で交流の輪 ノルディックウォークが契機

平成25年、市民の健康づくり推進のため、ひたちなか市スポーツ推進委員会によるノルディックウォーキングの普及活動が始まったことがきっかけとなり、日本ノルディックウォーキング振興会の指導の下、みなとwaiwaiクラブの理事が指導者資格を取得し教室活動につなげました。

日本ノルディックウォーキング振興会から、「広く普及させていきたい」とのお話もあり、近隣の総合型クラブへ声をかけ、各クラブでも指導者資格を取得し定期教室へとつなげていきました。

平成27年、みなとwaiwaiクラブから親交のあったスポーツクラブひたまる25へ「潮風を受け、海を見ながらノルディックウォーキングを一緒にやりませんか!？」と誘ったのがクラブ間交流のきっかけとなり、その後スポーツクラブひたまる25から「ノルディックウォーキングで野山を歩き、秋そばも楽しみませんか!？」とお誘いを受けました。

さらに近隣クラブにも声をかけ、ひまわりスポーツクラブも参加して3クラブ合同でノルディックウォーキング教室を開催しました。茨城県総合型クラブ協議会水戸地区の会議等でも、クラブ間交流が話題となり、東海村総合型地域スポーツクラブ スマイル東海(SCスマイルTOKAI)も仲間入りすることとなりました。

今年6月に初参加する予定だった、夢town大洗スポーツクラブはコロナ感染拡大により、町全体が非常事態となり、クラブの活動も中止となったため、次回からの参加を予定しています。



2 地域の特色や季節を考慮し、 クラブ輪番で年3回開催

ノルディックウォーキングというツールを使って、3市1町1村の各クラブの利用会員さんが定期教室活動を行っていることが、地域間交流が続いている要素になっています。年3回、持ち回りでホストクラブとなり、桜が満開の時期はひまわりクラブ主催で、夏は海沿いを歩けるみなとwaiwaiクラブが主催し、秋は山歩きができるひたまる25が主催するといったような地域の特色を考慮した取り組みをしています。

参加者80名以上「安全」「楽しく」を大切に入念に準備

毎回80名以上の会員の方々が参加して交流するため、集合場所・コース決め・スタッフの配置・危機管理の対応等...安全に楽しく体験していただくために、主催クラブは毎回入念な準備をしています。

現在は、3クラブが主催クラブを担っていますが、今後はスマイルTOKAI・夢town大洗も主催クラブとしてクラブ間交流に取り組んでいきます。

【ノルディックウォーキング】(日本ノルディックウォーキング協会HPから)

クロスカントリースキーの選手たちが、夏の間体力維持・強化トレーニングとして行っていた「スキーウォーク」を、ポールを使った簡単な歩行運動として紹介されたのが「ノルディックウォーキング」。

フィンランドでの発表後、たちまち誰でもできる運動として広まり、現在ではドイツ、オーストリアなどヨーロッパを中心に人気が高まっています。季節を問わず誰でも簡単に始められ、しかも5分～10分の運動でエクササイズ効果を実感。専用のポールを使用するウォーキングは、効果的な“有酸素運動”として、下半身だけでなく腕、上半身の筋肉などの全身を使うエクササイズになります。

※ノルディックウォーキングの利点※(同協会HPから)

- **90%の筋肉を使う全身運動**
カラダ全体の90%の筋肉を動かし、1時間あたり約400kcal(通常のウォーキング/280kcal)を燃焼する全身運動です。
- **膝の関節、脊柱への負担を軽減**
ポール使用での膝の関節・脊柱への負担を約5kg/歩軽減。正しい歩行姿勢の場合は約8kg/歩までの負担を軽減します。
- **年配の方々にもおすすめ**
ポールがバランス維持をサポートし、転びにくい歩行へ。姿勢や呼吸も整えられ、血液循環システムを活発にします。

- **正しい歩行姿勢に**

ポールを使って歩くことにより、歩行姿勢が正され、呼吸を整えます。

- **長時間の歩行もラクラク**

足首、膝、腰、アキレス腱など下半身にかかる負担を軽減し、長い距離の歩行が可能になります。

- **腰痛防止にも効果を発揮**

オフィスワークの多い方の腰痛防止に、街中でも、いつでもどこでもできるエクササイズとして最適です。

- **新しい理想的なスポーツへ**

ジョギングや普通のウォーキングでは……と考えている方々に、ノルディック・フィットネスウォーキングは理想的なスポーツです。

3 参加者の体力が増進→健康長寿社会に向けた効果も

参加者は50代～80代の高齢者中心

ノルディックウォーキングは、2本のポールを使用して歩くことで、足腰への負担が少なくなり、長時間の歩行も楽にできる高齢者にやさしいスポーツです。各クラブとも50代から80代の方が主に参加し、5km～7km位を歩きます。参加会員の体力も増進しており、健康長寿社会に向けた取り組みの一環としても効果が出ています。

地元を出て遠出(リフレッシュ) 参加者同士で地域間・クラブ間交流

毎回参加している方は、近隣のクラブの方とも顔なじみになり、地元の食材や美味しいお店情報等お喋りをしながら地域間交流を図っています。会員の方にとっては、普段は地元周辺での教室活動ですが、海、山、森林と季節に応じて少し遠出ができることも楽しみになっているようです。各自の体力レベルに合わせていますので、景色を楽しみながら無理なく歩け、長期にわたりクラブ間交流が続いています。

参加者が多く市街地での安全面に配慮

問題点としては、参加人数が多く長列となるため、市街地を通過するときは特に歩行の仕方に細心の注意が必要となります。毎回コースを変えて企画をしているのですが、7年も続くと主催クラブ側でコースのマナー化が見え始めています。

事務局側(クラブマネージャー等)としては、ノルディックウォーキング交流事業や協議会開催時だけでなく、日常的に連絡を取り合うことで、コロナ禍でのクラブの現状や教室活動等の情報交換ができるようになったことは、クラブを運営していく中で本当に心強いです。

4

地域間交流を広げ、人・地域づくり実現へ

年代間の縦のつながりや、組織や団体間の横のつながりが欠けてきているといった構造的な問題が、地域コミュニティの希薄化を増幅させていると思われます。こうした状況を改善し、今後も地域間交流を広げていきながら、スポーツを通して人づくり・地域づくりを実現していきたいです。

多世代参加型の新規事業にも着手へー近隣クラブ合同で企画

今後はノルディックウォーキングだけでなく、ニュースポーツを取り入れた事業や多世代で楽しめる事業も近隣クラブ合同で企画していきたいと考えております。また、総合型地域スポーツクラブとして、地域住民の社会参加を促す受け皿となり、地域貢献活動をこれからも行っていきます。

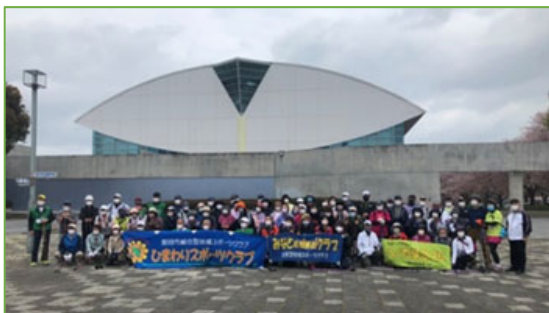
(みなとwaiwaiクラブ クラブマネジャー 吉村 孝子)



ひたちなか市 合同ノルディックウォーキング
海からの風が気持ちいい！平磯海岸通り
那珂湊高校から「みなとちゃん」参加！
担当：みなとwaiwiクラブ



ひたちなか市 合同ノルディックウォーキング
海門橋を渡って大洗へ 往復約6km
参加した皆さん、とても元気です！！
担当：みなとwaiwiクラブ



那珂市 合同ノルディックウォーキング
桜満開の那珂総合公園
担当：ひまわりスポーツクラブ



常陸大宮市 合同ノルディックウォーキング
紅葉の御前山ダム
担当：スポーツクラブひたまる25

みなとwaiwaiクラブ

設立年月日 平成22年9月1日
所在地 茨城県ひたちなか市
運営 会員数253名(令和3年10月現在)、予算規模301万6千円(令和3年度)
連絡先 〒311-1213 茨城県ひたちなか市牛久保1-10-18しおかぜみなと内
TEL 090-8774-3710 FAX 029-212-8761
URL <https://3710waiwai.com>
E-mail 3710waiwai@gmail.com

スポーツクラブひたまる25

設立年月日 平成25年10月1日
所在地 茨城県常陸大宮市
運営 会員数132名(令和3年10月現在)、予算規模300万円(令和3年度)
連絡先 〒319-2133 茨城県常陸大宮市小野451
TEL 0295-55-9666 FAX 0295-55-9667
URL shouboustar.wix.sportsclubhitamaru25
E-mail hitamaru25@ab.wakwak.com

ひまわりスポーツクラブ

設立年月日 平成22年2月28日
所在地 茨城県那珂市
運営 会員数278名(令和3年10月現在)、予算規模601万円(令和3年度)
連絡先 〒311-0121 茨城県那珂市戸崎428-2 那珂総合公園内
TEL 090-7411-5338 FAX 029-297-0076
URL <https://himawarisports.web.fc2.com>
E-mail nakahimawarisports@yahoo.co.jp

東海村総合型地域スポーツクラブ スマイル東海(SCスマイルTOUKAI)

設立年月日 平成19年2月25日
所在地 茨城県那珂郡東海村
運営 会員数544名(令和3年9月現在)、予算規模1,632万2千円(令和3年度)
連絡先 〒319-1115 茨城県那珂郡東海村船場749-3 (東海村総合体育館内)
TEL 029-283-1001 FAX 029-283-1001
URL <https://scsmiletokai.com/>
E-mail support@scsmiletokai.com

夢town大洗スポーツクラブ

設立年月日 平成19年3月30日
所在地 茨城県東茨城郡大洗町
運営 会員数208名(令和3年10月現在)、予算規模1,719万円(令和3年度)
連絡先 〒311-1313 茨城県東茨城郡大洗町成田町1626 大洗町総合運動公園内
TEL 029-267-1515 FAX 029-266-3787
URL <http://www.yume-town.com/>
E-mail yumeoarai@yahoo.co.jp

特別企画

サイクリング活動に取り組むクラブ

特定非営利活動法人伊勢崎西部スポーツクラブ ＜群馬県伊勢崎市＞

国土交通省が令和3年5月に「第2次自転車活用推進計画」を策定しました。

第2次自転車活用推進計画では目標の一つとして、日常生活における自転車利用も含めた生涯スポーツの普及奨励により、心身の健全な発達や、生きがいのある豊かな生活の実現、国民の健康寿命の延伸等を目指しています。

そこで今回は、サイクリング活動に取り組むクラブについて紹介します。

【国土交通省HP 自転車活用推進計画】

https://www.mlit.go.jp/road/bicycleuse/good-cycle-japan/jitensha_katsuyo/

1 クラブ概要

定期活動以外にも各種活動・事業を展開

【目的】

特定非営利活動法人伊勢崎西部スポーツクラブは、広く一般市民に対し、スポーツクラブ運営やスポーツ教室、スポーツ交流大会などに関する事業を行い、誰もが気軽に、身近にスポーツ活動に参加できる環境を整え、市民の健康・体力増進、地域・世代を超えた新たなコミュニティ創出を図り「スポーツで元気なまちづくり」の実現に寄与することを目的としています。

【クラブの事業】

■スポーツクラブ運営（定期活動）

◇生涯スポーツ支援事業

ジョギングクラブ、筋力トレーニングクラブ、ウォーキング(ノルディックウォーキング)教室
ムーブストレッチクラブ

- ◇ 育成事業
 - かけっこ塾、〇〇塾 (小学生対象)
 - カヌークラブ (小学生～成人対象)

- ◇ 生活向上事業
 - 貯筋運動 (概ね60歳以上対象)

- ◇ 部活動
 - トレラン、自転車

■ スポーツ教室運営 (不定期活動)

初心者ランニング教室、カヌー体験教室、トレイルランニング入門教室

■ 交流大会主催・運営

伊勢崎エコマラニック、広瀬川カヌースラローム大会、ジョギングフェスティバル
みんなのリバーサイドジョギング、チャレンジ! 3時間走、初日の出Run

■ 協働事業

- ◇ 「はつらつウォーキング教室」「筋力アップ教室」を伊勢崎市より受託
- ◇ 他クラブ、サークル、公民館、他団体、企業等への指導者派遣

■ サロン事業(平成29年11月～貸テナントに入居、クラブ事務局移転とシェアスペースを確保)

文化事業(筆文字講座、パステルアート講座等)、シェアスペース貸出

2 サイクリング活動の取り組み内容

不定期のサイクリング活動が「自転車部」に発展

クラブ会員有志で不定期にサイクリング活動をしていましたが、もっと頻繁に参加したいというニーズが高まり、平成28年4月から毎月一回の「大人の部活動」として自転車部を立ち上げました。活動内容は、基本的にクラブハウスを起点とした往復50～70kmで、コース途中で地域の史跡や美味しい食べ物など、楽しむためのランドマークを織り込んだコース選定としています。

四季に応じたコースを選定 事故防止にも配慮

夏場は涼しさを求めて山間部へ行き、空っ風(北風)が厳しく日照時間の短い冬場は距離を短くする代わりにランドマークを多めにするなどして、四季に応じた走りをするようにしています。また、より安全にサイクリングをするために、コース選定後のスタッフによる下見ライドは必ず実施して、状況に応じてコースの見直しをするなど事故が起きないように努めています。

活動を始めたばかりの頃は、車道では自動車が怖いという声が多くサイクリングロードが主体のコース取りで、その分バリエーションを考えるのに苦労しました。最近は、うまく車列をつかって車道を走ることができるようになってきたので、より多くの所に行けるようになりました。

サイクル上のモラルを守って活動「自転車は(軽)車両」

また、走るスキルだけではなく、モラル面でも「車両としての自転車」の乗り方の啓蒙(けいもう)にも努めています。サイクリングロードという名称がついているので自転車専用道路と勘違いしているような人がたまに見受けられますが、自転車はあくまでも(軽)車両です。道行く人に対する安全配慮を怠らないように、追い抜く時には、しっかり減速し、積極的に「こんにちは」と挨拶をして通り過ぎるようにしています。



高崎市の佐野橋:「流れ橋」という珍しい構造の橋です。自動車で行けない所に気軽に行けるのが自転車の強みです



サイクルトレインを使った移動:地元の観光資源を利用して距離を稼ぐことも。電車に乗るのも楽しみの一つです



車列:ライディングスキルの向上を感じさせる一枚です

3

生活に楽しさを与えてくれるスポーツとして定着

ロードバイク、ビンディングシューズが主流となり走行距離増

当初、ロードバイク・マウンテンバイク・クロスバイク・実用自転車など色々な自転車が混在する集団でしたが、回を重ねるごとにロードバイクに乗り換えて参加する人が増え、ビンディングシューズの使用率も高まりました。これにより効率的に乗れるようになったことから1回の走行距離が100kmに到達するようになりました。それで自信がついたのでしょうか、仲の良い会員さん同士で大会(ヒルクライム、ロングライド)に参加したり、「空いた時間に一人で遠乗りしたよ」という話をいただくようにもなりました。

バイクのメンテナンスとトラブル対処法も指導

生活の中にサイクリングが「健康を維持するための運動」ではなく、息抜きや生活に楽しさを与えてくれるスポーツとして定着してきていると感じています。また、「スポーツバイクはセルフメンテナンスが基本」を念頭に年度の始めの活動を愛車DAYにしており、その回は、自転車の清掃・よくあるトラブルの対処法・トラブルを起こしにくい自転車の乗り方などの座学の機会を設けています。その効果が表れたのか、出先でのパンク・チェーン脱落・転倒などのトラブルの発生率が低くなってきました。

女子中学生が高校自転車部に入る一助に

競技に関連した出来事としては、漫画(泣き虫ペダル)を読んでロードレースに関心を持った女子中学生が、クラブハウスで集まっている私たちに声をかけてきました。その中学生は、「自転車部のある高校に進学したいと思っている」という話を聞かせてくれて、何度か私たちの活動に参加し、最終的にはその高校への進学を果たしたということがありました。自分たちの活動が、一人の人生のターニングポイントに前向きなきっかけを与えられたことをうれしく思う反面、常に誰かに見られているかもしれないので、「うかつなことはできないな(笑)」という気持ちにもなりました。



年に一度のメンテナンスデー：自転車がピカピカになるだけでなく、愛車精神にも磨きがかかります。

4

未経験者が気軽に参加できる活動を目指す

今後の目標・課題としては、新たにサイクリングを始めようとする人が気軽に参加できるゲートウェイ的なイベントを、乗り慣れてある程度のボリュームを求めるメンバーとの折り合いを考えながら、定期活動の中で実施していくようにすることです。

親子参加型イベントで子どもの運動量アップを

特に、子どもの運動量の低下が言われている昨今ですが、そもそもは親世代の運動量の低下が要因の一つでもあるので、長期休みに親子参加型のイベントを実施したいと考えています。また、競技性を前面に押し出した活動をするのは恐らくないでしょうが、それにつながるという意味合いとしては、まず競い合う前段階として「自転車に乗るのは楽しい」と思える「入口」としての活動をしていきたいと思えます。

競技から離れても再び戻れる場所(クラブ)に

そして、速さや強さに興味を持ち「自分はどこまで上にいけるのだろう」という思いを持つようになったら次のステップへ送り出し、最終的にはその人が競技から離れてしまった時に「帰ってくる場所」としてのクラブであるように活動をしていきたいと考えております。

(伊勢崎西部スポーツクラブ 理事・自転車部担当 久保田 光俊＝公認スポーツプログラマー)

クラブプロフィール

設立年月日 平成21年2月28日(平成24年12月20日法人登記)

所在地 群馬県伊勢崎市

運営 会員数211名(令和3年10月現在)、予算規模8,484,000円(令和3年度)

特徴 『もっと気軽にEnjoy Sports 』!

地域の緑地公園、サイクリングロード、広瀬川等地域の資源を有効活用し、ランニング、ウォーキング、カヌーを中心に「スポーツの見えるまちづくり」を理念に掲げて活動しています。全ての活動は初心者でも楽しめる内容で、世代・能力を超えての交流も楽しみの一つです。スポーツ活動参加の垣根を低くし「スポーツで元気なまちづくり」を応援します。

連絡先 〒372-0812 群馬県伊勢崎市連取町3009-2

TEL 080-4887-9629

URL <https://wind.ap.teacup.com/seibusports/>

E-Mail isesakiseibusc@bk2.so-net.ne.jp



助成金情報

ノエビアグリーン財団 2021年度助成事業

[実施団体] (公財)ノエビアグリーン財団

日本を代表するジュニアスポーツ選手の育成、また、心身ともに健全な青少年の育成に寄与することを目的として、一般公募による助成活動を実施しています。

[申込期間・方法] 2021年12月1日(水)9:00～2022年2月28日(月)正午12:00

団体と個人で応募できます。電子申請サポートシステムにより応募を受け付けます。

<https://www.noevirgreen.or.jp/grants/index.htm>

ヨネックススポーツ振興財団 2022年度助成金

[実施団体] (公財)ヨネックススポーツ振興財団

ジュニアスポーツ振興助成事業(全スポーツ競技)

全てのスポーツ競技において、ジュニアスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励し、または自ら行い、かつ当該団体としての活動を実施している団体を対象とします。

[申込期間・方法]

前期 対象期間:2022年4月1日～9月30日および2022年度の年間を通した事業

申請期限:2021年12月20日(当日消印有効)

交付決定:2022年3月1日頃(予定)

後期 対象期間:2022年10月1日～2023年3月31日の事業

申請期限:2022年6月20日(当日消印有効)

交付決定:2022年9月1日頃(予定)

Excelの申請書類をダウンロードし、必要事項を記入の上、対象団体であることを証明する書類(履歴事項全部証明書の写し又は定款の写し等、前年度事業報告書、前回事業パンフレット等)を添付して申請ください。

<http://www.yonexsports-f.or.jp/joseikin.html>





お知らせ

日本スポーツ協会情報

総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度に関するホームページを公開！

令和4年4月1日から総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用を開始します。
それに伴い、日本スポーツ協会ホームページ内に総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の概要や登録申請書類、諸規程等のページを公開いたしましたので、ぜひご覧ください！

＜日本スポーツ協会HP 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度＞

- 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度とは
<https://www.japan-sports.or.jp/local/tabid1337.html>
- 諸規程
<https://www.japan-sports.or.jp/local/tabid1338.html>

学校運動部活動の地域移行に向けた安全対策セミナーの開催

令和5年度以降の休日部活動の段階的な地域移行に向けて、総合型クラブにおける適切な安全管理体制の整備に関する情報提供を目的として、学校運動部活動の地域移行に向けた安全対策セミナーを開催しています。

全国9ブロックで行っている本セミナーも、残り3会場(ブロック)となりました。オンライン形式を使用して開催しておりますので、開催ブロック以外の方でもご参加いただけます。なお、参加費は無料になります。

開催間近の会場(ブロック)もありますのでお気をつけください。多くのクラブ関係者の方々のご参加をお待ちしております。

＜日本スポーツ協会HP 学校運動部活動の地域移行に向けた安全対策セミナー＞

<https://www.japan-sports.or.jp/local/tabid1073.html>

※本セミナーは、公益財団法人スポーツ安全協会の支援を受けて実施しています。